

令和7年度奈良県キャラバン・メイト養成研修プログラム

開催日：令和8年2月20日(金)

場所：社会福祉総合センター研修室 B・C

時間：10:00～17:20(受付開始 9:30～)

(6時間)

時間	内容(時間は目安)	目的
9:30～10:00	受付	
I 開会挨拶・オリエンテーション		
10:00～10:20 20分	<ul style="list-style-type: none"> ○認知症をめぐる現状・奈良県認知症施策について ○認知症サポーターキャラバンとは ○研修のねらい 	認知症サポーター・キャラバンとは何か、事業展開の趣旨について理解し、事業の位置づけを確認する。
II 認知症サポーターに伝えたいこと		
10:20～11:45 85分	1. 認知症の基礎知識 <ul style="list-style-type: none"> ○認知症とは ○認知症の主な症状 ○中核症状・行動・心理症状 ○認知症の診断・治療 <ul style="list-style-type: none"> ・早期診断・早期治療の重要性 ○認知症の人への対応 ○認知症の予防についての考えかた 	認知症とはどういう病気なのかを知り、正しく理論的に理解する。 認知症サポーター養成講座でサポーターへ分かりやすく伝えられるようにする。
11:45～11:55	(10分休憩)	
11:55～12:30 35分	2. 介護家族の心理的理解 <ul style="list-style-type: none"> ○認知症の人と接するときの心がまえ ○介護者の気持ちの理解 ○介護者への支援 	認知症の人や介護をしている家族の気持ちを理解し、どのような支援をすればよいかを考える。
12:30～13:30	(昼食休憩)	
13:30～13:40	～グループワーク席準備(10分程度)～	
III 認知症サポーター養成講座の運営方法 午後からは適宜休憩となります。		
13:40～14:25 45分	1. 認知症の人を地域で支える <ul style="list-style-type: none"> ○認知症の人を支えるネットワーク <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムについて ・地域の社会資源 ○認知症サポーターとは ○認知症サポーターができること(地域でできること、働く場面でできること児童・生徒などの場合) 	認知症の人を支える奈良県下の社会資源やネットワークについて学ぶ。 近隣や地域で起きている様々な問題について、様々な状況を想定し、どこかの窓口に繋ぐのが適切か考える。 認知症の人を地域で支える視点を学ぶ。
14:25～14:45 20分	2. 認知症サポーター養成講座の展開方法 <ul style="list-style-type: none"> ○サポーター養成の取組事例の紹介(市町村) ○サポーター養成講座の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・キャラバン・メイトの役割 ・サポーター養成講座開催の流れ 	キャラバン・メイトの役割を確認し、認知症サポーター養成講座の展開について、協力体制や企画などの実務、講座のポイントなど運営方法について学ぶ。
14:45～17:05 140分	演習(グループワーク) 適宜休憩 「対象者に合わせたカリキュラムを作ってみよう」 ○受講対象者の分類とカリキュラム作成 A地域住民／B職域／C学校など ○グループ発表 ○まとめと講評	対象者ごとに基本情報を整理する。 (分類ごとの特徴をおさえた講座にするため) 実際の講座開催を想定して、プログラムの作り方を体験的に学ぶ。
IV 事務連絡		
17:05～17:20 15分	1.キャラバン・メイトの登録について 2.質疑応答・アンケート記入・回収 3.終了証・オレンジカード・オレンジリング授与	登録・講座開催までの流れ等についての事務連絡。
～閉会～		